

貸借対照表

(2022年3月31日 現在)

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	1,178,098	流動負債	47,105
現金及び預金	1,132,795	未払金	19,327
暗号資産	17,396	未払法人税等	10,505
前払費用	6,550	賞与引当金	13,466
未収消費税等	14,778	その他	3,807
その他	6,580	負債合計	47,105
固定資産	374,473	純資産の部	
有形固定資産	1,434	株主資本	1,505,466
工具、器具及び備品	1,434	資本金	1,352,676
無形固定資産	330,194	資本剰余金	1,352,676
特許権	588	資本準備金	1,352,676
商標権	3,794	利益剰余金	△1,199,886
ソフトウェア	325,812	その他利益剰余金	△1,199,886
投資その他の資産	42,845	繰越利益剰余金	△1,199,886
長期前払費用	20,646	純資産合計	1,505,466
その他	22,200	負債純資産合計	1,552,571
資産合計	1,552,571		

※ 金額表示については、千円未満の端数を四捨五入しております。

損 益 計 算 書

(自2021年4月1日
至2022年3月31日)

(単位：千円)

科 目	金	額
販売費及び一般管理費		445,527
営業損失		445,527
営業外収益		
受取利息	8	
雑収入	15,123	
その他	0	
		15,131
営業外費用		
為替差損	331	
株式交付費	3,272	
暗号資産評価損	22,200	
		25,802
経常損失		456,198
税引前当期純損失		456,198
法人税、住民税及び事業税		950
当期純損失		457,148

※ 金額表示については、千円未満の端数を四捨五入しております。

株主資本等変動計算書

(自2021年4月1日
至2022年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本						純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	885,297	885,297	885,297	△742,737	△742,737	1,027,857	1,027,857
当期変動額							
新株の発行	467,379	467,379	467,379		-	934,758	934,758
当期純損失			-	△457,148	△457,148	△457,148	△457,148
当期変動額合計	467,379	467,379	467,379	△457,148	△457,148	477,609	477,609
当期末残高	1,352,676	1,352,676	1,352,676	△1,199,886	△1,199,886	1,505,466	1,505,466

※ 金額表示については、千円未満の端数を四捨五入しております。

個別注記表

I 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 暗号資産の評価基準及び評価方法
活発な市場が存在するもの
期末日の市場価額に基づく価額をもって貸借対照表価額としております。
2. 固定資産の減価償却の方法
 - (1) 有形固定資産
定額法を採用しております。
なお、耐用年数は以下のとおりです。
工具、器具及び備品 2～4年
 - (2) 無形固定資産
定額法を採用しております。
なお、主な耐用年数は以下のとおりです。
特許権 8年
商標権 10年
ソフトウェア 5年
3. 引当金の計上基準
賞与引当金
従業員に対する賞与の支出に充てるため、支給見込額のうち当事業年度の負担すべき額を計上しております。
4. 繰延資産の処理方法
株式交付費については、支出時に全額費用として処理しております。
5. 消費税等の会計処理方法
消費税等の会計処理は税抜方式によっており、控除対象外消費税等は、発生事業年度の費用として処理しております。

II 会計上の見積りに関する注記

1. 自社利用ソフトウェア等の経済価値
 - (1) 当事業年度の計算書類に計上した額
ソフトウェア 325,812千円
 - (2) 会計上の見積りの内容について計算書類利用者の理解に資するその他の情報
当社は、主に暗号資産の大口OTC市場向け決済プラットフォームのサービス提供に用いるシステムを自社利用ソフトウェアとして認識しており、「研究開発費及びソフトウェアの会計処理に関する実務指針」（会計制度委員会報告第12号 2014年11月28日）に基づいて、機能改良に要した費用や研究開発終了後の費用を、将来の収益獲得が確実な範囲で資産計上しております。
将来の収益獲得見込は、原則として、経営陣により承認された翌事業年度の予算及びその後4ヶ年の業績計画に基づき算定しております。なお、予算及び業績予測については、外部及び内部より入手した過去のデータに業界の将来の趨勢に関するマネジメントの評価を反映したうえで作成しております。
これらの見積りは将来の不確実な経済状況及び会社の経営状況の影響を受け、計画通りに事業が進捗しない場合、翌連結会計年度以降の計算書類において認識する金額に重要な影響を与える可能性があります。

III 表示方法の変更に関する注記

前事業年度において、営業外収益の「その他」に含めて表示しておりました「雑収入」（前事業年度27千円）は、金額的重要性が増したため、当事業年度より区分掲記しております。

IV 貸借対照表に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額 756千円
2. 関係会社に対する金銭債権債務
短期金銭債務 4,190千円

V 損益計算書に関する注記

- 関係会社との取引高
販売費及び一般管理費 208,408千円

VI 株主資本等変動計算書に関する注記
発行済株式の総数に関する事項

(単位：株)

	当事業年度期首 株式数	当事業年度 増加株式数	当事業年度 減少株式数	当事業年度末 株式数
発行済株式数				
普通株式	295,099	98,520	-	393,619
合計	295,099	98,520	-	393,619

VII 税効果会計に関する注記

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

繰延税金資産

繰越欠損金

342,108千円

減損損失

13,597千円

賞与引当金

4,124千円

その他

6,517千円

繰延税金資産 小計

366,346千円

税務上の繰越欠損金に係る評価性引当額

△342,108千円

将来減算一時差異等の合計に係る評価性引当額

△24,238千円

評価性引当額 小計

△366,346千円

繰延税金資産 合計

-千円

繰延税金負債

繰延税金負債 合計

-千円

繰延税金資産の純額

-千円

重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。